

# 鳥取市公園・広場芝生化実験

## 「はだしであそべる公園づくり」概要

近年、全国的に校庭の芝生化、公園・広場の芝生化が進められています。その効果として、子供の発育や環境など既に様々な報告がなされています。鳥取市も市民の要望に基づき、公園・広場の芝生化を行ってきたところです。

しかし、その効果の反面、維持管理の難しさ、多額の費用を要するなどなかなか普及しない現状もあります。

今回の実験では、NPO 法人グリーンスポーツ鳥取の、芝生を低コスト・低管理で造成、管理する方法「鳥取方式」を採用することにより、利用者満足度の高い公園・広場の芝生化を実施していきます。

**公園・広場を芝生化するとこのような効果が期待できます。**

### 子供の発育への効果

- ・外に出て遊ぶ事が多くなる。
- ・転んでも痛くない→思いっきり走れる。
- ・植物と身近に触れ合える。

### 環境への効果

- ・土の表面に比べて防塵効果が高い。
- ・降雨時の土砂流出防止。
- ・二酸化炭素の変換機能など

### 美観の向上

- ・身近な所で緑への親しみ、やすらぎを得ることができる
- ・芝生の緑が周囲の景色を引き立てる。
- ・ポイ捨ての減少→モラル・意識の向上

### しかしその反面

- 1、造成工事、維持管理に多額の費用が必要。
  - 2、素人には維持管理が難しい。手間がかかる。
  - 3、芝生が傷つくので利用制限が必要。
- とされています。

そこで、この芝生化実験では地元の NPO 法人の協力で「鳥取方式」を採用することと、行政・地域が協力し、さらに維持管理しやすい方法を取り入れることで、上記の問題点を解決する以下のような方法で進めていきます。

1、誰でも出来るポット苗の移植工法で造成します。地域の方々と行政と一緒に移植作業することにより、大幅にコストを抑えます。維持管理は業者に委託するのではなく、芝生管理を地域が担い、必要な資材、機材の費用を行政で負担します。

これだけでも従来の業者への委託方法より大幅にコストダウンし、芝生化の普及を図ることが出来ます。

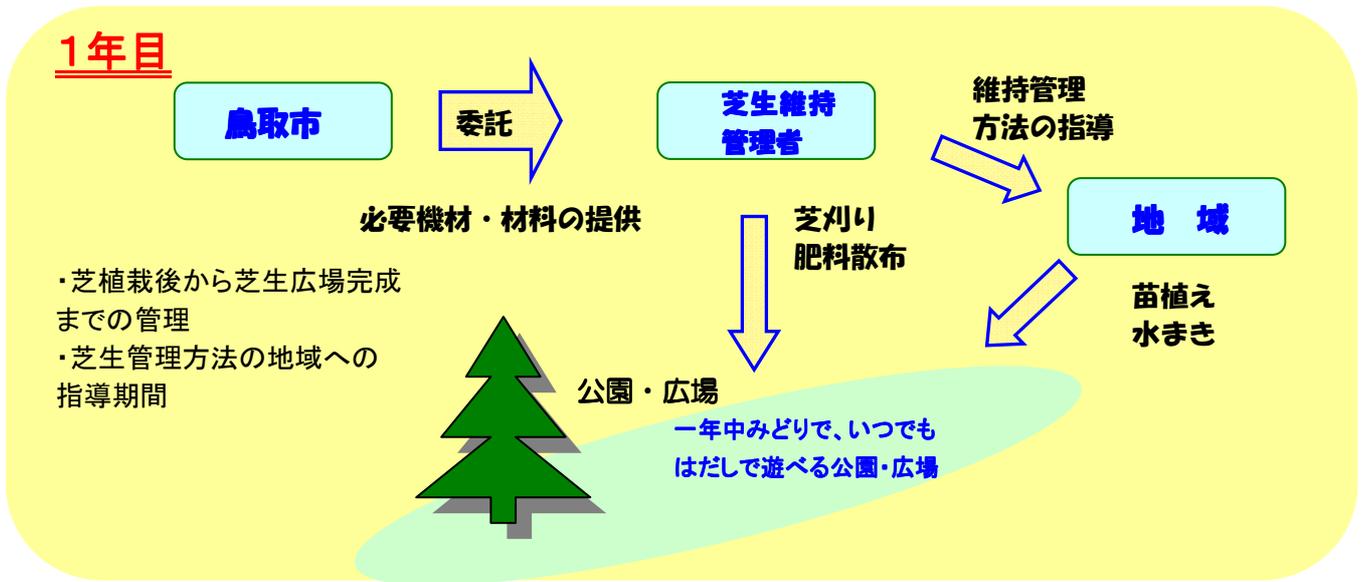
2、維持管理は肥料散布、水やり、芝刈りのみです。今回の芝生化は「遊べる公園・広場づくり」を目標としています。本格的な競技場である必要はなく、誰でも簡単に管理でき、快適に遊べる芝生を維持していきます。

手間がかからない、簡単でやりやすい作業で維持していくことにより、誰でも継続して管理しやすい方法で行います。

3、今回採用する芝の種類は、従来の高麗芝、野芝などの日本芝と比較して、成長速度が大きく、サッカー場などでも使用している西洋芝を採用します。採用する西洋芝は高温・乾燥に強く、使用による損傷からの回復も早いいため、限られた期間を除き、立ち入り禁止も設けません。芝生広場の使い方は無限大です。

具体的には、以下のような方法で進めていきます。

## 1年目



## 2年目以降



### 芝生維持管理のスケジュール

- 6月上旬** : ポット苗による移植。  
**から6月下旬** (全面を耕さないで移植直後から使用は可能。)
- 7月頃** : 芝の生育にあわせ、週1回程度のペースで芝刈り。  
 月1回の肥料散布
- 9月中旬** : 移植から約3ヶ月後に全面を被覆し完成。
- 9月下旬** : 冬芝の種まき。(約2週間使用できない。) この作業で1年中緑の芝生広場になります。

以降の作業は真冬の12, 1, 2月を除き芝刈り、水やり、肥料散布の作業をおこなっていきます。

子供たちにとっても、自分で植えた芝がどんどん広がり、秋には芝生広場になる感動があります。



写真提供：グリーンスポーツ鳥取

## 実現に向けて

この実験に先立って、市内150の公園愛護会へ芝生に関するアンケートを実施し、芝生の意識調査を行いました。

約70%の愛護会が芝生化に興味があり、60%が公園広場は芝生がいい、45%が芝生化してみたい。という結果になりました。

同時に、市内近隣の芝生を実際に見て、はだしになって体感してもらう「とっとり芝生ツアー」を、グリーンスポーツ鳥取の協力で行いました。



「芝生ツアー」では、  
全参加者がはだしになって、  
芝生の感触を体感しました。



芝刈り機も、はじめはびくびくしながらでしたが、すぐ簡単に運転できました。

30数名の参加者が「鳥取方式」での芝生の造成、管理方法の説明を聞き、誰にでも意欲があれば簡単に管理が出来ること、芝刈り中心の管理だけでこんなに気持ちのいい芝生が出来ることを実感していただきました。

そして、

今年度は、この「芝生ツアー」に参加し、「鳥取方式」の芝生化をはじめてみたい、自分たちの公園をすばらしい公園にしたい。と地域で取り組むことを決められた、以下の公園5箇所を、6月下旬より芝生化（芝生化面積合計6,000㎡）していきます。

### 20年度芝生化する公園

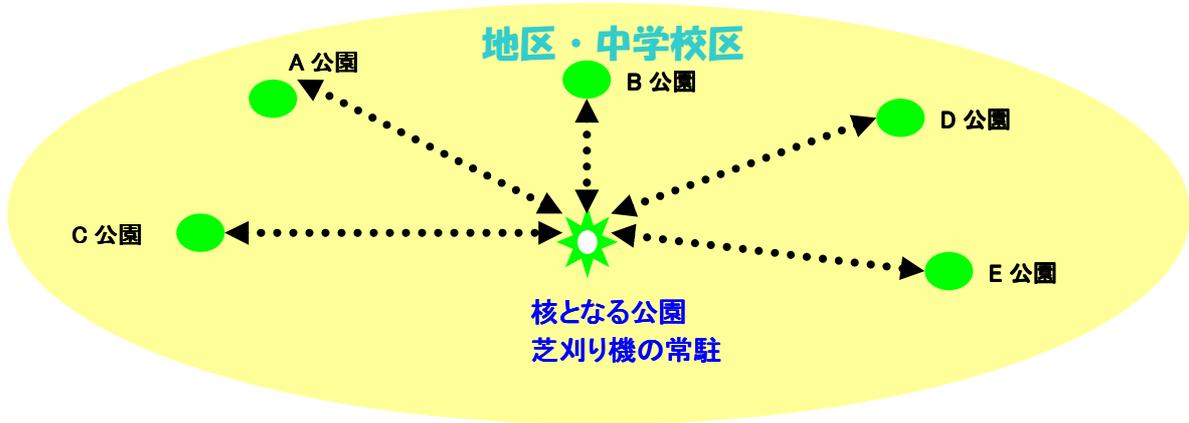
- ① 深沢公園 (美萩野3丁目 芝生化面積700㎡)  
植え付け日：6月29日(日) 10:00～
- ② 湖山公園 (湖山町北6丁目 芝生化面積1,500㎡)  
植え付け日：7月 1日(火) 9:00～
- ③ 北園2号公園 (北園1丁目 芝生化面積1,500㎡)  
植え付け日：7月 5日(土) 13:00～
- ④ 財ノ木第2公園 (吉成 芝生化面積500㎡)  
植え付け日：7月 6日(日) 10:00～
- ⑤ 天神公園 (天神町 芝生化面積1,800㎡)  
植え付け日7月 8日(火) 9:00～

## これからは

この5箇所の公園は「はだしであそべる公園づくり」のモデルとして、これからの公園・広場の芝生化のリーダー的な公園となります。

今後、これらの公園を核として、地区単位、中学校区単位など、地域の中で芝生のネットワークを構築し、芝刈り機などの機材の共有、地域の管理従事者同士のコミュニケーションを図る、利活用のアイデアを共有することで、地域に愛され、満足度の高い芝生公園を展開していきます。

## 芝生化のネットワーク



そして、市内の多くの公園で、子供たちが「はだしであそべる公園」を広めていくことを目標として、この事業をすすめていきます。

